

# いざという時に備えて 防災訓練

新燃岳が爆発的噴火を起こし火砕流が発生したことなどを想定した、県の総合防災訓練が2011年5月26日、牧園町霧島高原国民休養地などで行われ、76機関、約1,400人が参加。また、新燃岳噴火から1年を経過した2012年1月26日、市では自衛隊や警察など23の機関や団体、約800人が参加し、霧島地区と牧園地区で新燃岳噴火対応住民等避難訓練を行い、最悪のシナリオを想定しながらいざという場合に備えてきました。

## 2011年5月26日の県総合防災訓練



高千穂自主防災組織の初期消火訓練



福祉施設の入所者を安全な施設へと移動



避難住民の健康確認



倒壊家屋からの救助訓練



災害医療派遣チーム(DMAT)と消防局が一緒になって救出訓練



ホテルからの救助訓練

## 2012年1月26日の新燃岳噴火対応住民等避難訓練



逃げ遅れた住民がいなかったか確認する警察官



噴石から警察官に身を守ってもらう残留者



避難する高千穂保育園の子どもたち



自衛隊車両による避難者輸送



地元消防団と警察官が連携して逃げ遅れた人を捜索

避難状況を確認し避難済のシールを玄関に貼る警察官